

道守かごしま座談会



～道守がつなぐ日本風景街道～

日時：2007年8月23日(木) 13:30～16:00

会場：かごしま県民交流センター 2階中ホール

- 主催 道守かごしま会議
- 共催 錦江湾あったまる～と推進協議会
国土交通省大隅河川国道事務所・鹿児島県国道事務所、鹿児島県
- 後援 西日本新聞社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、KTS鹿児島テレビ、
KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、MBC南日本放送

ごあいさつ

道守かごしま会議 代表世話人 田島直美

本日は、道守かごしま会議主催の「道守かごしま座談会」にご参加いただき、ありがとうございます。私たちは道を舞台として、様々な活動を行っている人々のことを「道守」と呼んでいます。道守かごしま会議は、鹿児島県内各地で、道端の清掃・美化活動、歴史や文化の発掘などを行っている「道守」の方々の集いの場として、ネットワークの形成と行政の協働による情報の共有化を図るために、平成16年7月7日に設立されました。

道守かごしま会議では、道に親しみ、道を守る様々な取り組みを一般の県民の皆様に理解していただくことや、道守活動の普及、道守会員の拡大を図るために、道守かごしま座談会を開催しております。

本日は、道守活動と「日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)」との関わりについての講演と、鹿児島県における応募ルート「錦江湾あったまる～と」の各ブロック長さんをシンポジストに迎え、道守活動との交流・連携をテーマに議論を深めたいと思います。日本風景街道の活動も、道守と同じく地域における道のあり方を考える活動です。このように協働の動きや仕組みづくりを議論する場をもてることを嬉しく思います。

長時間となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

プログラム

13:30	開会	
13:35	基調講演	「道守がつなぐ日本風景街道」 講師 玉川 孝道 氏(西日本新聞社特別顧問)
14:10	(休憩)	
14:20	道守活動紹介	
14:30	シンポジウム	「日本風景街道シンポジウム」 コメンテーター 玉川孝道 氏 シンポジスト 福島 大輔 氏(桜島ブロック長) 松元 潤平 氏(鹿児島ブロック長) 今林 重夫 氏(指宿ブロック長) 下津 公一郎 氏(南薩ブロック長) コーディネーター 中村朋美 氏(フリーアナウンサー)
16:00	閉会	



登壇者紹介

講師

玉川 孝道 氏(西日本新聞社特別顧問)

昭和38年西日本新聞社編集局入社。編集局長、取締役副社長などを経て、平成19年より(株)西日本新聞会館代表取締役社長。また道守九州会議副代表世話人、シーニックバイウエイ戦略会議委員も務める。

* 玉川氏には、シンポジウムにおいてもコメンテーターとしてご参加いただきます。



シンポジスト

福島 大輔 氏(桜島ブロック長)

NPO法人桜島ミュージアム理事長。専門は火山地質学(理学博士)。鹿児島大学の非常勤講師も兼務。桜島をまるごと博物館と考え、現地で本物を見て楽しみながら学べるシステムを構築するため奔走中。

松元 潤平 氏(鹿児島ブロック長)

まちづくりをコンセプトに安心できる住み良いまちを目指す、NPO法人物網人代表。地域の交流拠点「まちの駅」や防犯パトロールに取り組むほか、平成18年からは、鹿児島の文化学習の拠点を形成するべく「さつま交流館」を天文館に設立。

今林 重夫 氏(指宿ブロック長)

(株)今林会計代表取締役。税理士・行政書士・社会保険労務士。平成4年から現在まで指宿商工会議所会頭として、商工業の発展と地域の活性化に尽力している。そのほか、指宿市教育委員長、指宿地区税務連絡協議会長等多くの役職を務める。

下津 公一郎 氏(南薩ブロック長)

NPOエコ・リンク・アソシエーション代表理事。南薩広域を活動の中心として、広域的な体験型観光の実施、都市・農村交流など森林や河川・海洋環境保全活動や東シナ海まるごと博物館の推進活動の農山漁村再生に取り組む。

コーディネーター

中村 朋美 氏(フリーアナウンサー)

KTS鹿児島テレビ放送(株)アナウンサーとして16年間勤務後、平成18年よりフリーアナウンサーとして活躍中。現在は薩摩焼酎PR検討委員や、南さつま海道八景選定委員、かごしまよかとこ100選選考委員を務めるなど、鹿児島の観光や景観に関する活動にも余念がない。



日本風景街道の概要

平成19年4月20日、日本風景街道戦略会議の委員長である、奥田碩氏(日本経済団体連合会名誉会長)より、冬柴鐵三国土交通大臣に「日本風景街道の実現に向けて 提言」が手交されました。

日本風景街道とは

日本風景街道とは、国土文化の再興に向けて、文化資源の保存や保護、活用だけでなく、美しい国土景観の形成、地域活性化や観光振興を有機的につなぐものであり、道を舞台に、多様な主体の協働により行われるものです。

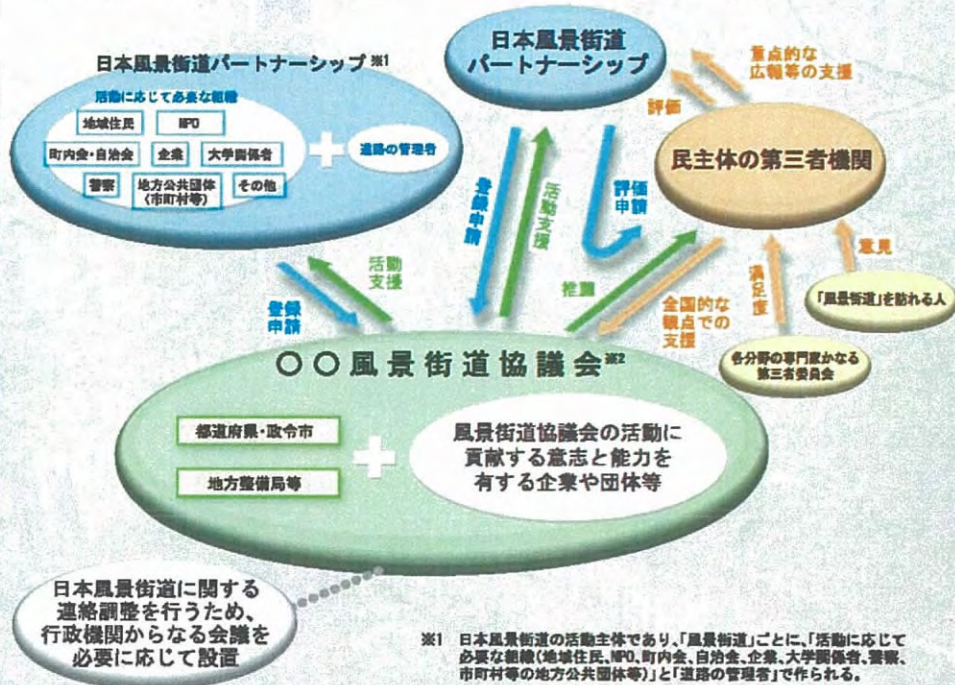
また日本風景街道は、「地域資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。

日本風景街道の活動内容

既に、日本各地で、地域固有の資源を活かし、蘇らせるための活動、美しい景観・風景を創出する活動(美しくない景観を改善する活動)、来訪者をもてなし、楽しませるための活動など、様々な活動が行われています。

- * 地域固有の資源を活かし、蘇らせるための活動
 - ・ ワークショップ等の開催
 - ・ 現状調査・資源発掘調査
 - ・ 観光拠点のアクセス向上
 - ・ 古道・旧道の発掘
- * 美しい景観・風景を創出する活動(美しくない景観を改善する活動)
 - ・ 広告看板の規制・撤去
 - ・ 電線・電柱の地中化
 - ・ ガードレールの見直し
 - ・ 植栽・道路清掃活動
- * 来訪者をもてなし、楽しませる活動
 - ・ 語り部・ボランティアの育成
 - ・ スタンプラリーの開催
 - ・ 観光に寄与する情報発信(道路・交通情報の提供)
 - ・ オープンカフェの設営
 - ・ 案内看板の整備
 - ・ 駐車場・ビューポイントの整備
 - ・ 観光に寄与する情報発信(ガイドマップ・ガイドブックの作成)

日本風景街道は、登録の枠組みを先行して構築し、概ね3年後を目途に評価の枠組みを構築する予定です。



日本風景街道のイメージ



：ワークショップ等の開催、交流会等の開催、ガイドマップの作成、ボランティアガイド・語り部の育成、案内看板の整備 等